

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872501002		
法人名	社会福祉法人 豊潤会		
事業所名	グループホーム ひより	ユニット名	
所在地	〒319-2512 茨城県常陸大宮市下桧沢3526		
自己評価作成日	平成21年7月25日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年9月10日	評価確定日	平成21年12月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・庭先の畑で野菜を作り、無農薬の新鮮な食材で食事を作っている。又、入所者も、収穫や草取りに自由に参加できる。・施設のドアや窓に特別な鍵はつけておらず、一般住宅の鍵のみで、出入りを拘束していない。・車の騒音が無く、空気が澄んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>地域の人々との交流を積極的に受け入れ、小学生や中学生の体験学習を通して利用者と三世代の交流も自然に培われている。</p> <p>運営推進会議の委員は、利用者や職員が抱える問題を見つめ「何か役に立てることはないか」と良き理解者であり応援者になっている。</p> <p>運営推進会議の委員との交流を大切にし、意見等をサービスの質の向上に活かしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で話し合い、「入所者の自分らしさと可能性、いつでも発揮できるよう、随時不安を取り除きます。」という理念を掲げている。見易い所に掲示し職員全員が実践に向けて取り組んでいる。	「入居者の自分らしさと可能性を發揮できるよう随時不安を取り除きます」との理念は開設時に全職員でつくり、管理者と職員は会議や日々の実践の中で理念を話し合い、より良い支援ができるよう常に心がけている。 ホームと地域との交流の輪は広がりを見せているが、理念は地域密着型サービスの意義を踏まえたものとは捉えにくい。	地域や利用者のニーズ、ホームの状況の変化に応じて、現状にあった地域密着型サービスとしての理念に見直すことを期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する小学校との交流や、地域の行事等への参加、招待の声がかかり、出来るだけ参加する事で地域の理解も得られ、一体感が生まれている。	自治会に加入し多くの地域行事や小学校の収穫祭に参加するほか、小学生や中学生の体験学習やボランティアを受け入れ交流している。 地域の人々がホームの草刈りや庭の散水を手伝ってくれたり、野菜の栽培や鶏の飼育などのアドバイスをしてくれるなど、利用者との交流の輪が広がっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で、認知症高齢者を抱える家族等からの相談に応じている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回のペースで会議を開き、積極的な意見交換や助言を頂いている。地域の行事参加や交流会など多くの案が出され、日ごろのサービスに取り入れている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の状況やサービスの実態、行事などについて報告している。 委員から報告に対する質問を受けたり、事業所から介護保険の説明をするなど、双方向的な話し合いで意見等をサービスの質の向上に活かしている。 委員に利用者と同じ昼食を提供し、食事に対して関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加をはじめ、入所関連の情報交換など、協力関係を築くよう取り組んでいる。	管理者は市担当者と感染症対策や裏山の土砂災害に対する防除方法、ホームの課題について相談を行うなど連絡を密に取り協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関、門など、夜間以外は施錠しておらず、入所者に自由に出入りしてもらっている。身体拘束をしないケアは、職員全員が心がけ取り組み、実践している。	職員は身体拘束により利用者が受ける身体的、精神的弊害を理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない支援に取り組んでいる。 研修などを通して得た身体拘束をしないケアの知識を全職員で話し合い共有している。 利用者は職員の見守りのなか自由に外に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「学びの回覧」で学習し、職員全員が心がけ実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実践者研修の権利擁護の資料を、「学びの回覧」で回している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所の際に、理解が得られるように説明し、納得していただいている。疑問な事があれば随時説明し、理解していただけるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者、職員全員が要望や意見を聞くよう心がけている。すぐに出る事は速やかに実践し、検討が必要な場合には、家族と連絡をとり相談している。	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 浴室の手すりを増やして欲しいとの要望に速やかに対応するなど、事業所は運営推進会議や家族等が来訪した際に改善点や要望などを聞き運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開いているミーティングで積極的に話し合っている他、随時話を聞く事を心がけている。可能な事は取り入れている。	「書くことにより遠慮なく本音と言える」という職員の意見を反映し、職員の気付きやアイデアを用紙に記入し意見箱に投函する仕組みを採用し、職員が利用者との日常的な係わりの中で生じる意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、年に数回来所し、施設内外の様子を見て、スタッフの話に耳を傾けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修などの情報を共有し、個々に合った研修などを受けるよう、働きかけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の家族会への参加。グループホーム連絡協議会に入会し情報交換するなど、積極的に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの情報や本人の希望など、出来るだけ多くの情報を職員全員で共有し、不安無く過ごして頂けるよう、信頼関係が生まれるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接を行い、話し合う機会を設けている。どんなことでもきちんと受け止め、家族等の不安を取り除く事で、良い関係づくりが出来るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接を行い、よく話し合う機会を設けている。他のサービスも含めアドバイスするよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員全員が心がけ実践している。利用者の生活暦から得意とする事を取り入れ、野菜作りや料理などに知恵や助言を頂いている。時には人生の先輩として、様々なアドバイスも頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の話を良く聞き、本人との関わりなどをよく理解し、心情などに共感する事で、信頼関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族の情報を職員全員が共有し、電話を繋いだり、施設に向いてくれるよう働きかけたりする。時には本人と一緒に回想したりする。	隣接するデイサービスを利用している幼馴染みの人との交流を支援したり、友人がホームを訪れてもらえるよう働きかけている。 馴染みの人へ電話をつないだり、行き慣れた美容院や食堂などの利用が継続できるよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝夕の申し送りや、申し送りノートの活用や、業務の中で職員全員が小さな情報も共有する事を心がけ、支援するよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	新盆に訪問している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	今までの生活歴や生活習慣を、職員全員が把握し、希望に添えるよう努めている。日常の関わりの中で、本人の意向を把握するよう努めている。	職員は家族等から生活歴や希望を聞き利用者の意向の把握に努めるとともに、希望にそって牛乳や新聞を契約するなどの支援をしている。 日常生活の中で利用者の表情や言動、仕草から思いや意向を把握し、記録することに努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、サマリー、個人情報表、家族の情報などから把握するよう努めている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家族やサマリーなどの情報と合わせ、入所者個々の言動を観察し、職員全員が様々な情報を共有する事で、現状把握に努めている。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、関係者等の意見を聞く事に合わせ、日常の生活の関わりから職員が気づいた事を基に、課題を明確にして介護計画を作成し、モニタリング表でチェックしている。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌の他、個別の生活状況を、時間を追って記録し、ケアの内容や変化なども、朝夕の申し送りやミーティングで報告、話し合う事で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族に代わる受診代行や、医療連携体制により、看護師への24時間連絡が可能である。家族等が来所や宿泊の際には、希望により食事の提供も行っている。又、面会は決められた時間以外も可能である。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接する学校との交流、地域消防所の協力により避難訓練、又、ボランティアによる歌の会やお祭りへの参加などを行い、楽しんで頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿って、受診医療機関や主治医を決めている。又、地域の医療機関と連携を取り、往診や昼夜の訪問看護の要請が可能であり、適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者の希望するかかりつけ医への受診を家族等や職員が付き添い支援をしている。 受診結果や服薬を家族等や職員で共有し、適切な対応をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	地元医療機関との連携により、昼夜を問わず連絡が取れる体制になっており、日常的に連絡を取り適切な受診や看護が受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の様子、退院後の対応などの情報交換に努めており、職員全員が情報を共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期における医療処置について、主治医から経過や状態を聞き、家族、医師と方針や内容を話し合っている。又、看取りに関する方針も作成し、利用時に説明すると共に、状態によっては依頼書を提出してもらっている。これらの情報を共有し、支援するよう努めている。	重度化した場合や終末期の対応マニュアルを作成している。 終末期の対応方針を明確にし、全職員で共有している。 これまでに4件のターミナルケアを行っている。	重度化した場合や看取りに関する家族等の同意書を作成し、徴収することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設外での訓練を受けている職員が、数名いるが、施設内での展開に至っていない。マニュアル本を置く事と応援要請の為の緊急連絡網を作成してある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地元消防署の協力を得て、避難訓練を年2回行っている。災害時の地域全体の水源として井戸水を利用し、その設置場所をひよりにする事が地域との話し合いで決定しており、協力していく体制が強化されている。	年2回消防署立ち会いのもと避難訓練を実施している。 防火管理者は消防署の講習を受講し訓練に役立っている。 訓練後は「耳の遠い利用者をどのように迅速に避難誘導するか」などの課題を記録している。 地域住民に避難訓練への協力を働きかけるまでには至っていない。	運営推進会議などを活用し、地域の人々と連携して避難訓練が実施できるよう働きかけ、協力体制を築くことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄介助や入浴介助など、利用者のプライドやプライバシーを損なわないよう配慮して支援している。	職員は人格の尊厳を第一に考え、プライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている。 個人情報に関する書類は決められた場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ話を聞き、希望を取り入れられるよう支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人なりのペース配分など心がけ、希望に沿って支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望で衣類などの購入に出かけている。散髪は顔なじみの理容店に來所してもらっている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事を手伝ってもらっている。一人ひとりの好みに合わせ、食事内容を変えたりして喜んで頂いている。時々外出に出かけ、好みの物を食べていただいております、入所者も楽しみにしている。	ホームで収穫した農作物を食材に加え、利用者一人ひとりの好みに合わせて献立を工夫している。 利用者は職員と一緒に食事の準備や後片付けをし、会話をしながら楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成した、法人の献立に沿って食事を提供しており、摂取量も個々の記録に反映している。出来るだけ食べてくれるように声かけするが、無理強いはしていない。お茶はいつでも飲めるよう常設してあり、必要時には補水液なども提供する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に声かけし、自発的に行うよう支援している。仕上げの介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表に記入し、排泄のパターンを見つけ、それに合わせて声かけしている。	排泄チェック表を記録し、時間を見計らって声をかけトイレに誘導している。 排泄の自立に向けパットの種類や形状についても利用者一人ひとりに応じた対応を検討し支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表をつけて排便の確認をしている。又、便の状態や回数にも気を配っている。必要に応じて医師の診察を受ける。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な曜日は決めてあるが、本人が希望したり、汗をかいたりした後は、入っていただいている。	基本的に日曜日を除いて入浴支援をしている。 入浴時に緊急事態が発生した場合の対応を考慮し、入浴は午前中としている。 利用者の希望にそってシャワー浴や足浴も支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに応じて、就寝前の足浴や湯たんぽ等で支援している。寝付くまで手を握ったり、話を聞いたりする。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとり、朝、昼、晩、名前をつけた袋に薬を入れている。服薬の有無を日誌にもつけている。いつもと違った様子がある時には、バイタル表に記入し、施設長に報告する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員は、入所者一人ひとりの生活歴を把握すると共に、食事の準備や、菜園、書道など、入所者の役割や楽しみごとが出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事として、毎月ドライブや花見、買い物等に出かける他、天気の良い日には、職員とゴミ出し行ったり、散歩や買い物、外食するなど、入所者の気分転換が図れるように支援している。	利用者は広々とした庭で散歩を自由に行っている。 年間行事に毎月のドライブや観光施設への見学を組み入れ外出支援をしている。 職員と共にごみを分別し、希望する利用者は清掃センターへ搬出に行ったり、天気の良い日は買い物をしたり、外食するなど気分転換を図る支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣いを持って買い物に出たりしている。管理が難しい入所者には、職員が支払いの代行を行い、支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時にはいつでも、電話の取次ぎを行っている。話の内容によっては、後から職員がフォローの電話を入れている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール、食堂は広く、明るい空間になるよう心がけている。庭の野菜や草花が室内から見えるよう、大きな窓があり、季節を感じて頂いている。厨房のカウンターからは調理の匂いや音が流れ、生活感が味わえる。	ホールや食堂は広く部屋全体が明るく、陽ざしの強い場所はよしずで調節している。 庭は利用者が栽培している野菜や花などが咲き、季節感が感じられる。 室内から四季折々の里山の景色が眺めることができる。 調理室から煮物の匂いがただようなど、生活感をとり入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	くつろぎルームやテラス、食堂など、一人ひとりが好きな場所でテレビを見たり、涼んだり、景色を眺めたり、会話を楽しんだり、自由に過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や思い出の品等を持ち込んで頂き、居心地良くくつろげるよう工夫している。	居室の入口に暖簾を掛けたり利用者の使い慣れた椅子や筆筒、小物、テレビを置き、職員は利用者が今までの生活が続けられ、居心地良く暮らせるよう家族等と相談して支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体状況に合わせて手摺を増設している。草取りや畑仕事を好む入所者の為には、道具の置き場所等を伝え、自由に使用して頂いている。希望の物は購入して使っている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム ひより

作成日 平成21年12月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	●理念の共有と実践 ○地域や利用者のニーズ、ホームの状況の変化に応じて、現状に合った地域密着型サービスとしての理念へと見直す必要がある。	○地域密着型サービスとして、職員全員で話し合い、現状に合った理念へと見直す。	○月に一度開いているミーティングの際に、職員全員で話し合い、新たな理念を掲げ、施設の見やすい場所へ提示する。	平成22年1月末日
2	33	●重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ○重度化した場合や、看取りに関する家族等の同意書を作成し、徴収してはどうか。	○同意書を作成して、重度化や終末期において、家族や医療機関との連携をとり支援していく。	○現在の依頼書を見直し、家族や医療機関との話し合いを十分に持ち、同意書を作成し、徴収する。	実施済み
3	35	●災害対策 ○運営推進会議などを活用し、地域の人々と連携して、避難訓練を実施していない。 ○そのような協力体制を築けていない。	○地域の人々と協力しての避難訓練を、計画、実施していく。	○2ヶ月に一度の運営推進会議で議題として取り上げ、地域の方々の協力を依頼し、話し合いを持って、計画、実施していく。	2回/年の避難訓練までに計画、実施 平成22年6月末日
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。